

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公表番号】特表2013-533226(P2013-533226A)

【公表日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-045

【出願番号】特願2013-513575(P2013-513575)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/74	(2006.01)
A 6 1 K	8/99	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 Q	19/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	9/72	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 Q	1/00	(2006.01)
A 6 1 Q	1/14	(2006.01)
A 6 1 Q	1/04	(2006.01)
A 6 1 Q	1/10	(2006.01)
A 6 1 Q	1/02	(2006.01)
A 6 1 L	15/44	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	Z N A
A 6 1 K	35/74	D
A 6 1 K	8/99	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 Q	19/08	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	9/70	4 0 1
A 6 1 K	9/72	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	9/107	
A 6 1 K	9/10	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 Q	1/00	

A 6 1 Q	1/14
A 6 1 Q	1/04
A 6 1 Q	1/10
A 6 1 Q	1/02
A 6 1 L	15/03
A 6 1 P	43/00

1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月6日(2014.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

皮膚の抗老化治療のための方法において、

a. 有効な量のボツリヌス毒素を顔および首の皮膚の領域に投与するステップと、

b. 配列番号11、配列番号4、または配列番号4中に含有されて配列番号11のアミノ酸配列を含む7～12個の隣接するアミノ酸の配列からなる群から選択され、一般式(I)：



(式中、

A Aは、配列番号11、配列番号4、または配列番号4中に含有されて配列番号11のアミノ酸配列を含む7～12個の隣接するアミノ酸の配列からなる群から選択される配列であり、

R₁は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、およびR₅-C(O)-からなる群から選択され、

R₂は、-NR₃R₄、-OR₃および-SR₃からなる群から選択され、ここで、R₃およびR₄は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、および置換または非置換アラルキルからなる群から独立して選択され、

ここで、R₅は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、置換または非置換ヘテロシクリル、および置換または非置換ヘテロアリールアルキルからなる群から選択される)に従う美容的に有効な量の少なくとも1つのペプチド、その立体異性体、これらの混合物、および/またはこれらの美容的に許容可能な塩と、

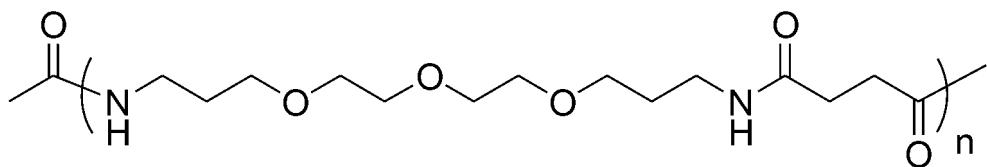
少なくとも1つの美容的に許容可能な賦形剤または補助剤とを含む美容組成物を1週間に1回～1日に10回投与するステップとを含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法において、前記皮膚の抗老化治療が、前記顔および/または首の皮膚のしわを低減または除去するための治療であることを特徴とする方法。

【請求項3】

請求項1に記載の方法において、R₁が、H、一般式(I I I)



(III)

(式中、nは1～100の範囲である)のポリマー、およびR₅-CO- (式中、R₅は置換または非置換C₁～C₂₄アルキルラジカル、置換または非置換C₂～C₂₄アルケニルラジカル、置換または非置換C₂～C₂₄アルキニルラジカル、置換または非置換C₃～C₂₄シクロアルキルラジカル、置換または非置換C₅～C₂₄シクロアルケニルラジカル、置換または非置換C₈～C₂₄シクロアルキニルラジカル、置換または非置換C₆～C₃₀アリールラジカル、置換または非置換C₇～C₂₄アラルキルラジカル、3～10個の環員を有する置換または非置換ヘテロシクリルラジカル、2～24個の炭素原子を有すると共に1～3個の炭素以外の原子を有する置換または非置換ヘテロアリールアルキルラジカルからなる群から選択され、前記アルキル鎖は1～6個の炭素原子を有する)からなる群から独立して選択されることを特徴とする方法。

【請求項4】

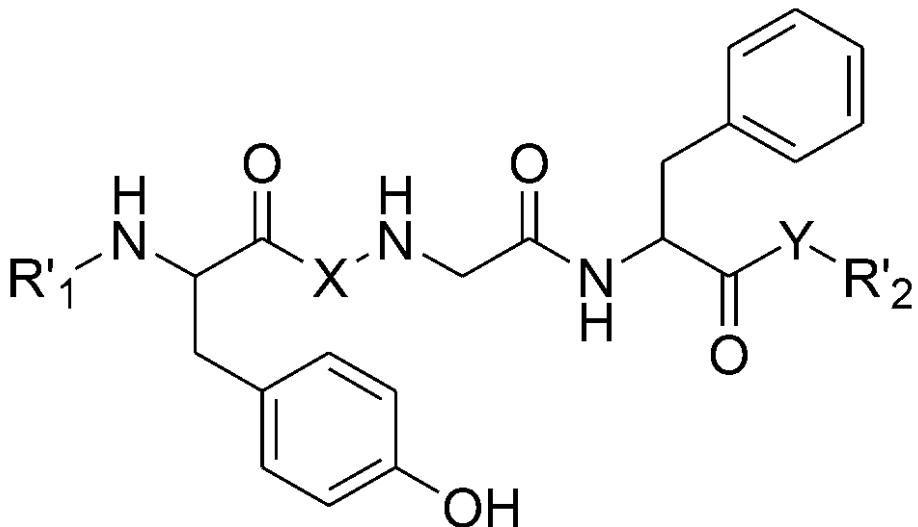
請求項1に記載の方法において、R₃およびR₄が、H、置換または非置換C₁～C₂₄アルキル、置換または非置換C₂～C₂₄アルケニル、置換または非置換C₂～C₂₄アルキニル、置換または非置換C₃～C₂₄シクロアルキル、置換または非置換C₅～C₂₄シクロアルケニル、置換または非置換C₈～C₂₄シクロアルキニル、置換または非置換C₆～C₃₀アリール、置換または非置換C₇～C₂₄アラルキル、3～10個の環員を有する置換または非置換ヘテロシクリル、および2～24個の炭素原子を有すると共に1～3個の炭素以外の原子を有する置換または非置換ヘテロアリールアルキル基(ここで、前記アルキル鎖は1～6個の炭素原子を有する)、ならびに一般式(III)のポリマー(ここで、nは1～100の範囲である)からなる群から独立して選択されることを特徴とする方法。

【請求項5】

請求項1に記載の方法において、AAが、配列番号4、配列番号8、配列番号11、配列番号14、配列番号15、配列番号16、配列番号17、配列番号18、配列番号19、配列番号20、配列番号21、配列番号22、配列番号23、配列番号24、配列番号25および配列番号26からなる群から選択される隣接するアミノ酸の配列であることを特徴とする方法。

【請求項6】

請求項1に記載の方法において、前記美容組成物が、一般式(II)：



(II)

(式中、

X および Y は、天然アミノ酸および非天然アミノ酸からなる群から独立して選択され、

R'1 は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、および R5-C(O)-からなる群から選択され、

R'2 は、-NR3R4、-OR3 および -SR3 からなる群から選択され、ここで、R3 および R4 は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、および置換または非置換アラルキルからなる群から独立して選択され、

ここで、R5 は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、置換または非置換ヘテロシクリル、および置換または非置換ヘテロアリールアルキルからなる群から選択される)の美容的に有効な量の少なくとも1つのエンケファリン由来のペプチド、その立体異性体、これらの混合物、および/またはこれらの美容的に許容可能な塩をさらに含有することを特徴とする方法。

【請求項7】

請求項6に記載の方法において、一般式(II)中に含有される前記隣接するアミノ酸の配列が、配列番号33、配列番号34、配列番号35、配列番号36、配列番号37および配列番号38からなる群から選択される配列であることを特徴とする方法。

【請求項8】

請求項1に記載の方法において、前記美容組成物が、一般式(IV)：
$$\begin{array}{ccccccccccccc}
 R'1' - A_p - B_r - A A_1 - A A_2 - A A_3 - A A_4 - A A_5 - A A_6 - C_s - \\
 D_t - R'2' \\
 \end{array}
 \quad (IV)$$

(式中、

AA₁は、-Asp-、-Glu-および-Pro-からなる群から選択され、

AA₂は、-Asp-であり、

AA₃は、-Tyr-および-Arg-からなる群から選択され、

AA₄は、-Phe-および-Tyr-からなる群から選択され、

AA₅は、-Arg-および-Lys-からなる群から選択され、

AA₆は、-Leu-および-Met-からなる群から選択され、

A、B、CおよびDは、天然アミノ酸および非天然アミノ酸からなる群から独立して選択され、

p、r、sおよびtは独立して選択され、そして0～1の範囲であり、

R'、R₁は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、およびR'、R₅-C(O)-からなる群から選択され、

R'、R₂は、-NR'、R'、-OR'、-SR'からなる群から選択され、ここで、R'、R₃およびR'、R₄は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、および置換または非置換アラルキルからなる群から独立して選択され、

ここで、R'、R₅は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、置換または非置換ヘテロシクリル、および置換または非置換ヘテロアリールアルキルからなる群から選択される、

の美容的に有効な量の少なくとも1つのペプチド、その立体異性体、これらの混合物、および/またはこれらの美容的に許容可能な塩をさらに含有することを特徴とする方法。

【請求項9】

請求項1に記載の方法において、前記美容組成物が、局所経路、経皮経路、経腸経路または非経口経路、接着または非接着パッチ、経口、経鼻または吸入経路によって、あるいは皮内、筋肉内、静脈内、腹腔内または皮下注射、イオントフォレーシス、ソノフォレーシス、エレクトロポレーション、機械的圧力、浸透圧勾配、閉塞治療、マイクロインジェクション、針を用いない圧力注入、マイクロエレクトリックパッチによって投与されることを特徴とする方法。

【請求項10】

請求項1に記載の方法において、一般式(I)および/または(II)の前記ペプチドが、リポソーム、混合リポソーム、オレオソーム、ニオソーム、ミニ粒子、ミリ粒子、マイクロ粒子、ナノ粒子および固体脂質ナノ粒子、ナノ構造脂質キャリア、スポンジ、シクロデキストリン、小胞、ミセル、界面活性剤の混合ミセル、界面活性剤-リン脂質混合ミセル、ミリスフェア、マイクロスフェア、ナノスフェア、リポスフェア、ミリカプセル、マイクロカプセル、ナノカプセル、マイクロエマルジョンおよびナノエマルジョンからなる群から選択される送達系または徐放系に取り込まれることを特徴とする方法。

【請求項11】

請求項1に記載の方法において、前記美容組成物が、クリーム、多重エマルジョン、無水組成物、水性分散体、油、乳液、バーム、フォーム、ローション、ジェル、クリームジェル、水性アルコール溶液、水性グリコール溶液、ヒドロゲル、リニメント、血清、セッケン、シャンプー、コンディショナー、血清、軟膏、ムース、ポマード、パウダー、バー、ペンシル、スプレーおよびエアロゾルからなる群から選択される製剤をもたらすことを特徴とする方法。

【請求項12】

請求項1に記載の方法において、前記美容組成物が、カプセル、バイアル、シリング、プレロードシリング、アンダーアイコンシーラー、メイクアップファンデーション、メイ

クアップ除去ローション、メイクアップ除去乳液、アイシャドー、口紅、リップグロス、リッププロテクターおよびパウダーからなる群から選択される製品に取り込まれて見出されることを特徴とする方法。

【請求項 1 3】

請求項 1 に記載の方法において、前記美容組成物が、布、不織布、衣類または医療デバイスに取り込まれることを特徴とする方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 に記載の方法において、前記美容組成物が、環状アデノシンーリン酸合成刺激剤、エラスターーゼ阻害剤、基質メタロプロテイナーゼ阻害剤、メラニン合成刺激剤または阻害剤、美白剤または脱色剤、着色促進剤、セルフタンニング剤、抗老化剤、NO - シンターゼ阻害剤、5 - レダクターゼ阻害剤、リジルヒドロキシラーゼおよび / またはプロリルヒドロキシラーゼ阻害剤、酸化防止剤、フリーラジカルスカベンジャーおよび / または大気汚染に対する薬剤、反応性カルボニル種スカベンジャー、抗糖化剤、抗ヒスタミン剤、抗ウィルス剤、抗寄生虫剤、乳化剤、皮膚軟化剤、有機溶媒、液体噴射剤、スキンおよび / またはヘアコンディショナー、湿潤剤、水分を保持する物質、アルファヒドロキシ酸、ベータヒドロキシ酸、保湿剤、上皮加水分解酵素、ビタミン、顔料または着色剤、色素、ゲル化ポリマー、増粘剤、界面活性剤、軟化剤、抗しわ剤、目の下のクマを低減または治療可能な薬剤、剥脱剤、抗菌剤、抗真菌剤、静真菌剤、殺菌剤、静菌剤、真皮または上皮の巨大分子合成を刺激する薬剤および / またはこれらの分解を阻害もしくは防止することができる薬剤、コラーゲン合成刺激剤、エラスチン合成刺激剤、デコリン合成刺激剤、ラミニン合成刺激剤、デフェンシン合成刺激剤、シャペロン合成刺激剤、アクアポリン合成刺激剤、ヒアルロン酸合成刺激剤、フィブロネクチン合成刺激剤、サーチュイン合成刺激剤、脂質および角質層成分の合成を刺激する薬剤、セラミドの合成を刺激する薬剤、コラーゲン分解を阻害する薬剤、エラスチン分解を阻害する薬剤、カテプシンGなどのセリンプロテアーゼを阻害する薬剤、線維芽細胞増殖を刺激する薬剤、ケラチノサイト増殖を刺激する薬剤、脂肪細胞増殖を刺激する薬剤、メラノサイト増殖を刺激する薬剤、ケラチノサイト分化を刺激する薬剤、脂肪細胞分化を刺激する薬剤、アセチルコリンエステラーゼを阻害する薬剤、皮膚弛緩剤、アセチルコリン受容体凝集を阻害する薬剤、筋収縮を阻害する薬剤、グリコサミノグリカン合成刺激剤、抗過角化剤、面皰溶解剤、抗乾癬剤、DNA修復剤、DNA保護剤、安定剤、抗搔痒剤、敏感肌の治療および / またはケアのための薬剤、固化剤、抗ストレッチマーク剤、結合剤、皮脂産生を制御する薬剤、脂肪分解剤または脂肪分解を刺激する薬剤、抗セルライト剤、制汗剤、治癒を刺激する薬剤、コアジュバント治癒剤、再上皮化を刺激する薬剤、コアジュバント再上皮化剤、サイトカイン成長因子、鎮静剤、抗炎症剤、麻酔剤、毛細血管循環および / または微小循環に作用する薬剤、血管新生を刺激する薬剤、血管透過性を阻害する薬剤、静脈強壮剤、細胞代謝に作用する薬剤、真皮 - 上皮接合部を改善する薬剤、発毛を誘発する薬剤、発毛阻害または遅延剤、防腐剤、芳香剤、キレート剤、植物抽出物、精油、海洋抽出物、バイオ発酵プロセスから得られる薬剤、無機塩、細胞抽出物および日焼け止め、紫外線Aおよび / またはBに対して活性な有機または無機光防護剤、ならびに / またはこれらの混合物の群から選択される美容的に有効な量の少なくとも 1 つの活性剤をさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 1 5】

請求項 1 に記載の皮膚の抗老化治療のためのキットにおいて、

- a . ボツリヌス毒素と、
- b . 配列番号 1 1 、配列番号 4 、または配列番号 4 中に含有されて配列番号 1 1 のアミノ酸配列を含む 7 ~ 1 2 個の隣接するアミノ酸の配列からなる群から選択され、一般式 (I) :



(式中、

A A は、配列番号 1 1 、配列番号 4 、または配列番号 4 中に含有されて配列番号 1 1 の

アミノ酸配列を含む 7 ~ 12 個の隣接するアミノ酸の配列からなる群から選択される配列であり、

R_1 は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、および $R_5 - C(O) -$ からなる群から選択され、

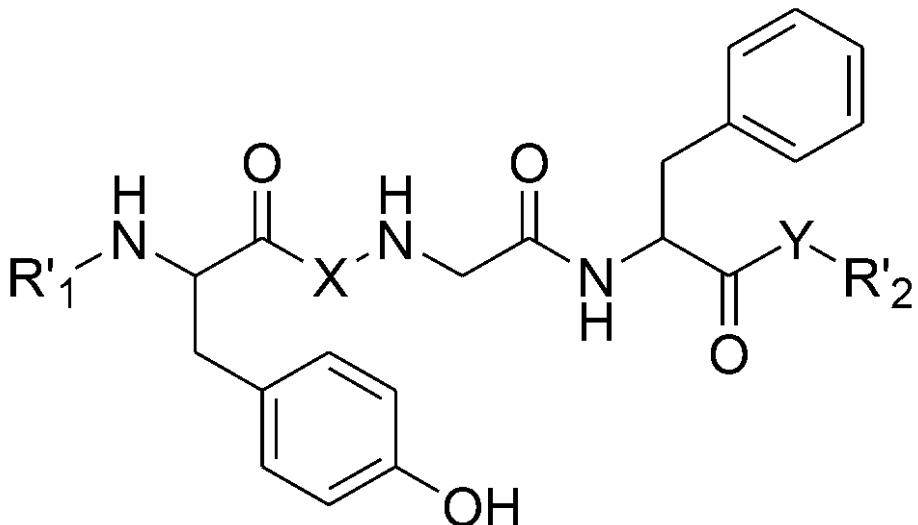
R_2 は、- $N R_3 R_4$ 、- OR_3 および- SR_3 からなる群から選択され、ここで、 R_3 および R_4 は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、および置換または非置換アラルキルからなる群から独立して選択され、

ここで、 R_5 は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、置換または非置換ヘテロシクリル、および置換または非置換ヘテロアリールアルキルからなる群から選択される) に従う美容的に有効な量の少なくとも 1 つのペプチド、その立体異性体、これらの混合物、および / またはこれらの美容的に許容可能な塩と、

少なくとも 1 つの美容的に許容可能な賦形剤または補助剤と
を含む少なくとも 1 つの美容組成物と
を含むことを特徴とするキット。

【請求項 16】

請求項 15 に記載のキットにおいて、前記美容組成物が、一般式 (II) :



(II)

(式中、

X および Y は、天然アミノ酸および非天然アミノ酸からなる群から独立して選択され、

R_1' は、H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、および $R_5 - C(O) -$ からなる群から

選択され、

R'_2 は、 - NR_3R_4 、 - OR_3 および - SR_3 からなる群から選択され、ここで、 R_3 および R_4 は、 H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、および置換または非置換アラルキルからなる群から独立して選択され、

ここで、 R_5 は、 H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、置換または非置換ヘテロシクリル、および置換または非置換ヘテロアリールアルキルからなる群から選択される) の美容的に有効な量の少なくとも 1 つのエンケファリン由来のペプチド、その立体異性体、これらの混合物、および / またはこれらの美容的に許容可能な塩

および / または、一般式 (IV) :

$$\frac{R'_{1'} - A_p - B_r - AA_1 - AA_2 - AA_3 - AA_4 - AA_5 - AA_6 - C_s}{D_t - R'_{2'}}$$

(IV)

(式中、

AA_1 は、 - Asp - 、 - Glu - および - Pro - からなる群から選択され、

AA_2 は、 - Asp - であり、

AA_3 は、 - Tyr - および - Arg - からなる群から選択され、

AA_4 は、 - $Phen$ - および - Tyr - からなる群から選択され、

AA_5 は、 - Arg - および - Lys - からなる群から選択され、

AA_6 は、 - Leu - および - Met - からなる群から選択され、

A、B、C および D は、天然アミノ酸および非天然アミノ酸からなる群から独立して選択され、

p 、 r 、 s および t は独立して選択され、そして 0 ~ 1 の範囲であり、

$R'_{1'}$ は、 H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、および $R'_{5'} - C(O) -$ からなる群から選択され、

$R'_{2'}$ は、 - $NR'_{3'}R'_{4'}$ 、 - $OR'_{3'}$ および - $SR'_{3'}$ からなる群から選択され、ここで、 $R'_{3'}$ および $R'_{4'}$ は、 H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換ヘテロシクリル、置換または非置換ヘテロアリールアルキル、置換または非置換アリール、および置換または非置換アラルキルからなる群から独立して選択され、

ここで、 $R'_{5'}$ は、 H、置換または非置換非環状脂肪族基、置換または非置換アリシクリル、置換または非置換アリール、置換または非置換アラルキル、置換または非置換ヘテロシクリル、および置換または非置換ヘテロアリールアルキルからなる群から選択される)

の美容的または薬学的に有効な量の少なくとも 1 つのペプチド、その立体異性体、これらの混合物、および / またはこれらの美容的または薬学的に許容可能な塩をさらに含有することを特徴とするキット。